

古文書解読学習方法の検討と、コンテンツ設計・実装に関する研究

200512054 塚田 昌孝

古文書解読学習方法の検討とコンテンツ設計・実装に関する研究を行っている。今まで作成した武田信玄の『開善寺宛武田信玄寄進状』、良寛和尚が書いたとされる未発表の詩『いちじろく』に加えて、今年度は『道中日記』という明治時代の旅日記の教材化を図っている。今後、教材化が完了しだい、教材作成手順のテンプレート化と、マニュアルの作成を行う。

古文書、古記録データベースセンターのサービス設計と構築

200512022 笠輪 裕士

現在コミュニケーションネットワーク研究の一環として、インターネットを介して古文書・古記録が学習できるシステム、『古文書解読学習ネットワークシステム』の研究を行っている。本研究は古文書学習教材を確保するための支援システムの構築を行う。このシステムでは次のサービス機能を実現することを目的としている。

- I 古文書データベースサービス
 - i 古文書登録支援サービス
 - ii 古文書閲覧サービス
- II 古文書検索サービス

現在、古文書の登録方法についてテンプレート化を行っている。また、古文書の画像や情報を登録するフォームと、データベースに登録された古文書を閲覧するフォーム、及び古文書閲覧時のサポーター機能として検索サービスを作成・実装している。

古文書解読学習のための講義システムの設計と構築

200512080 南澤 章裕

古文書解読学習を支援する為に古文書学習 e-Learning システムを試作した。このシステムには学習センターの教材に任意にアクセスして学習する個別型の学習機能と、学習センターにいる講師からオンタイムの講義を受ける集中型の学習機能を有している。

インターネットを介して集中型の講義を行う場合には、学習端末ごとのネットワーク条件等により伝送遅延を生じる。この伝送遅延から起こる問題を解決するための機能として、伝送時間制御方式がある。本研究では伝送遅延補償機能をこの古文書学習 e-Learning システムに搭載することについて検討する。検討項目は以下のものである。

1. e-Learning システムと同報対話型通信システムの統合
2. 対話型通信機能を構成する機能

墨画・墨書の単位属性抽出のためのアルゴリズムの設計と実装

200512063 原 康芳

古文書文字の細線化処理を実行するプログラムの作成を行っている。古文書文字は筆者の筆跡により、太さ、濃淡、サイズ等の多様性により様々であるため解読を行うことは難しい。

本研究では古文書文字属性抽出の実行を容易にするために、古文書影印の外枠・内枠切り出し、古文書文字の細線化を行う。細線化処理プログラムは既にフリーソフトとして流通しているものを使用している。

現在は細線化後表示された不必要なひげを削除するためにプログラムの改良を行っている。今後は細線化プログラム完成後に、属性定義方式・属性絞り込み方式を明確化、実装について検討していく。